

株主のみなさまへ

KAWATA IR Report

第72期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日



株式会社 **カワタ**
証券コード 6292



TOP MESSAGE

現場第一主義を基本姿勢とし、創業以来培ってきた技術を基に、お客様の生産活動の改善につながる提案と、お客様に喜んでいただける製品・サービスを提供することにより、世界の人々のより豊かで安全な暮らしに貢献します。

代表取締役社長 白石 互

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社の第72期報告書をお届けいたします。株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年6月25日



当期における業績について

当期の世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により急激に悪化し、一部の先進諸国において段階的な経済活動再開に向けた動きは見られたものの、各国における感染再拡大を受けて依然として厳しい状況が続いております。

わが国経済も、2020年5月の緊急事態宣言の解除後は、徐々に経済活動再開の動きを見せておりましたが、2020年後半の大都市圏を中心とした感染再拡大により2021年1月及び4月には緊急事態宣言が続いて発出されるなど、先行き不透明感が強まっております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、2020年4～6月は9,147億円（前年同期比19.9%減）、7～9月は9,418億円（同15.0%減）、10～12月は10,703億円（同0.8%増）、1月は3,624億円、2月は3,425億円と、10～12月及び1月では一旦回復の兆しが見られたものの、2月は前年同月比で2.8%減となるなど、予断を許さない状況であります。

このような環境下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、引き続き各セグメントが属す

る国の状況に応じて時差出勤や在宅勤務等を実施しながら、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

しかしながら、当連結会計年度における受注高は年度後半から徐々に回復傾向ではあるものの、前年同期比では49億8千5百万円減（同24.6%減）の152億4千7百万円、受注残高は前年同期比12億5千2百万円減（同21.0%減）の47億6百万円となりました。また、売上高につきましては、前年同期比44億9百万円減（同20.8%減）の167億8千7百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減等に努めましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少により、営業利益は前年同期比10億8千7百万円減（同68.2%減）の5億6百万円、経常利益は前年同期比10億4千2百万円減（同63.6%減）の5億9千7百万円となりました。

特別損益では、固定資産売却益1百万円、投資有価証券売却益1百万円を特別利益に、固定資産除売却損2百万円、

減損損失4百万円、投資有価証券評価損2百万円、子会社清算損3千6百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税3億3千7百万円、法人税等調整額マイナス7千3百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比7億6千7百万円減（同72.1%減）の2億9千6百万円となりました。

今後の見通しについて

世界経済は全体として、新型コロナウイルスの感染再拡大や米中貿易摩擦の長期化等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。各国でワクチン接種が始まりつつありますが、新型コロナウイルスの感染がある程度収束し、世界経済がコロナ危機前の水準まで回復するには2年以上は要するものと考えられます。

わが国経済も、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響を受け、経済活動の先行きは不透明感が強まっており、当面は設備投資も回復基調ながらも厳しい局面が続くものと思われます。

かかる環境下、当社グループといたしましては、競争力強化によるプラスチック成形関連分野でのマーケットシェアの拡大、グループ各社及び業務提携先との相乗効果の発現、コア技術の応用や環境・エネルギー分野への対応強化による新規販売分野の開拓、原価低減強化や諸経費の削減、高付加価値製品の開発による収益力の向上等を中期的に取り組んでまいります。

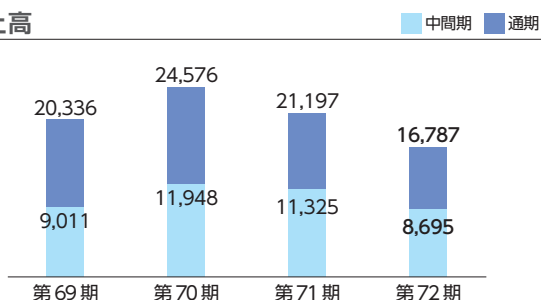
また、国内外における原材料価格の上昇、運賃等の高騰、海外における人件費増加等の懸念については、適正な販売価格の維持と製造工程における更なる業務効率化等によりカバーいたします。

翌期につきましては日本、東アジア、東南アジア、北中米各セグメントにおいて主力のプラスチック成形関連分野での需要回復に加えて新素材、新エネルギー、AIを中心とした成長分野を着実に取り込むことにより、売上高187億円、営業利益8億3千万円、経常利益7億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益5億1千万円を予想しております。

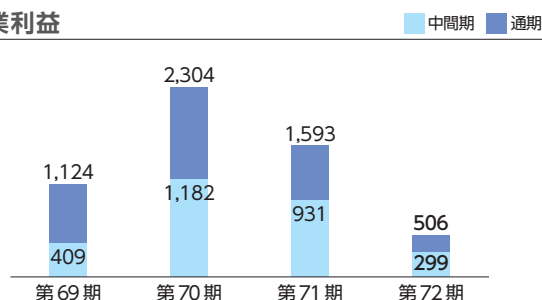
連結財務ハイライト

単位：百万円 / 1株当たり純利益のみ単位：円

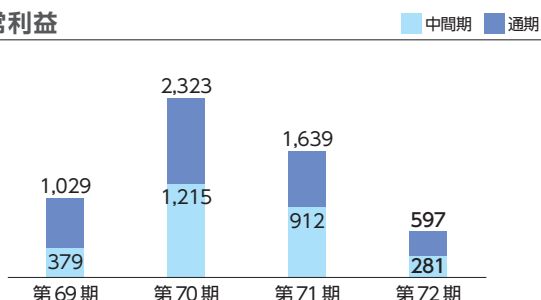
売上高



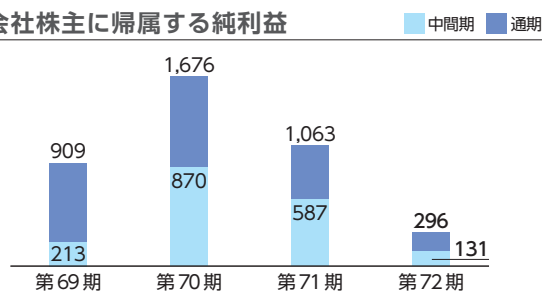
営業利益



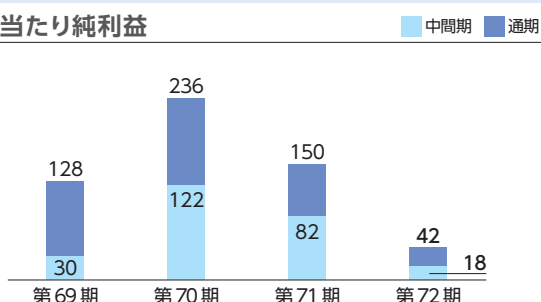
経常利益



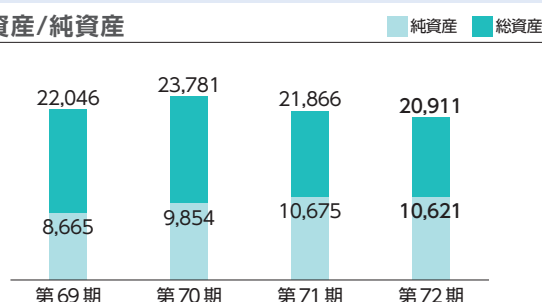
親会社株主に帰属する純利益



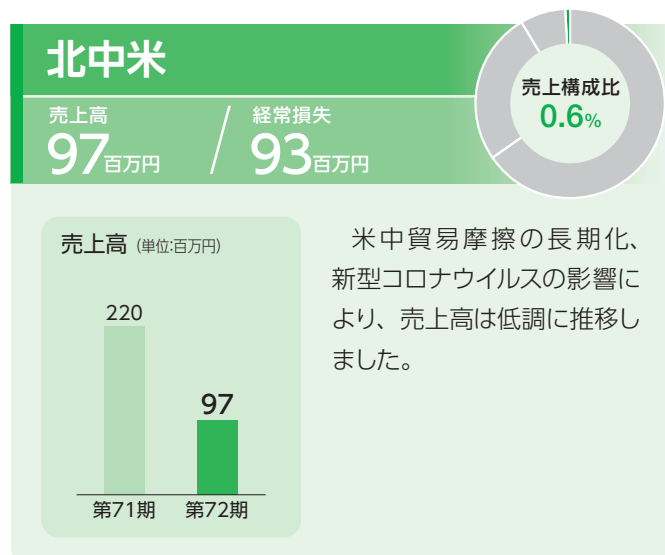
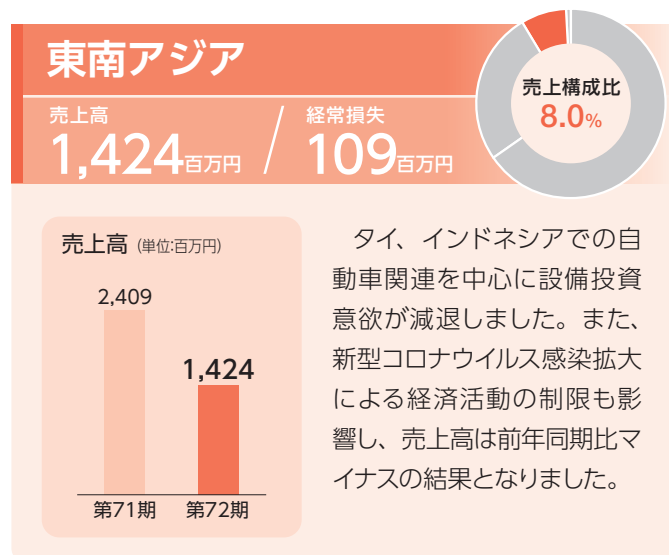
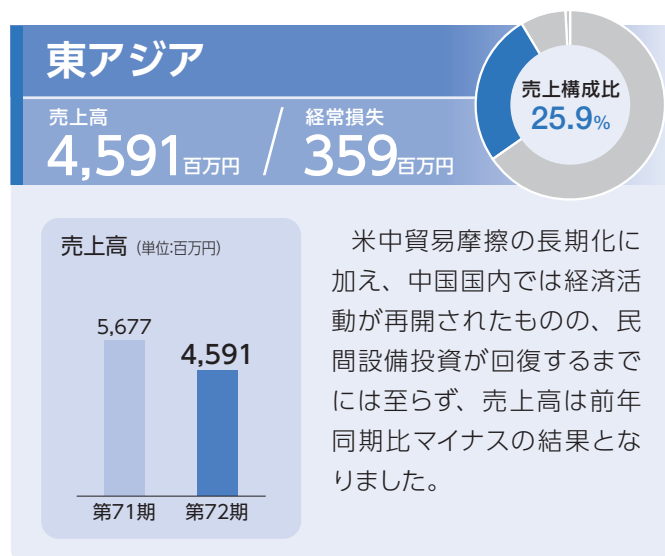
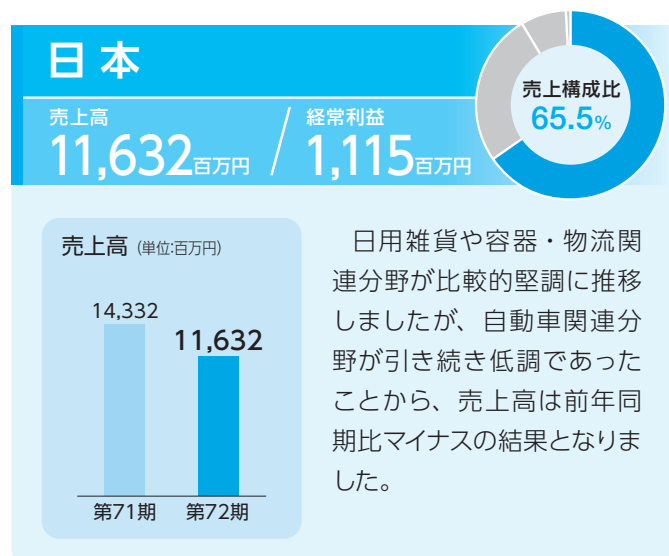
1株当たり純利益



総資産/純資産



地域別の概況



※各セグメントの数値は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

ご案内

株主優待制度について

株主優待品の贈呈時期につきましては、定時株主総会の招集ご通知に同封（6月上旬）及び12月上旬を予定しております。

基準日	贈呈時期	株主様	優待品
3月31日	6月上旬	100株以上の株主様	500円相当のQUOカードを贈呈
		500株以上 1,000株未満の株主様	1,000円相当の優待品 or 社会貢献活動団体への寄付
		1,000株以上の株主様	1,500円相当の優待品 or 社会貢献活動団体への寄付
9月30日	12月上旬	100株以上の株主様	500円相当のQUOカードを贈呈

Topics 01

脱湿乾燥機CHALLENGER IVを発売

日本品質のグローバルスタンダード機と位置づけております従来の脱湿乾燥機 (DFB) のメンテナンス性と信頼性を向上させた脱湿乾燥機 (DFC Series) CHALLENGER IVを発売いたしました。

CHALLENGER IVの特長:

- 再生排気エネルギーを利用することで、省エネを実現。
- 再生排気エネルギーを利用することで、工場内空調環境改善に貢献。
- 拡張性のあるタッチパネルを採用し、IoT対応が可能に。
- 従来機と比べ、大幅な省スペース化を実現。

脱湿乾燥機 (DFC Series) CHALLENGER IV



Topics 02

IPF Japan 2020 Virtualに出展

「Work for Human～人と環境にやさしい社会～」をテーマに、新製品を多数出展いたしました。「脱湿乾燥機 DFC」は次世代機種、「小型脱湿乾燥機DRD」は究極の省エネ、省スペースを実現し、業界初の揮発成分捕集機能を搭載しています。次世代成形ルームとしてIoTの世界を紹介いたしました。

- 会 場：オンライン特設バーチャル展示会場
- 会 期：2020年11月18日(水)～11月20日(金)
継続展示期間
会期終了後～2021年5月21日(金)までの6ヶ月間
- 主 催：国際プラスチックフェア (IPF) 協議会
- 規 模：394社／団体 (共同出展含む)、208ブース
- 来場者数：13,986人 (会期中)
- 構 成：会場は6つのパビリオン「成形機／成形関連機器」
パビリオンに出展



脱湿乾燥機DFCの説明の様子



全体説明の様子



IPFサイトのバーチャルブース

会社情報

■ 会社の概要 (2021年3月31日現在)

商 号 **株式会社カワタ**
(KAWATA MFG. CO.,LTD.)

本 社 〒550-0011
大阪市西区阿波座1丁目15番15号

設 立 1951年7月13日

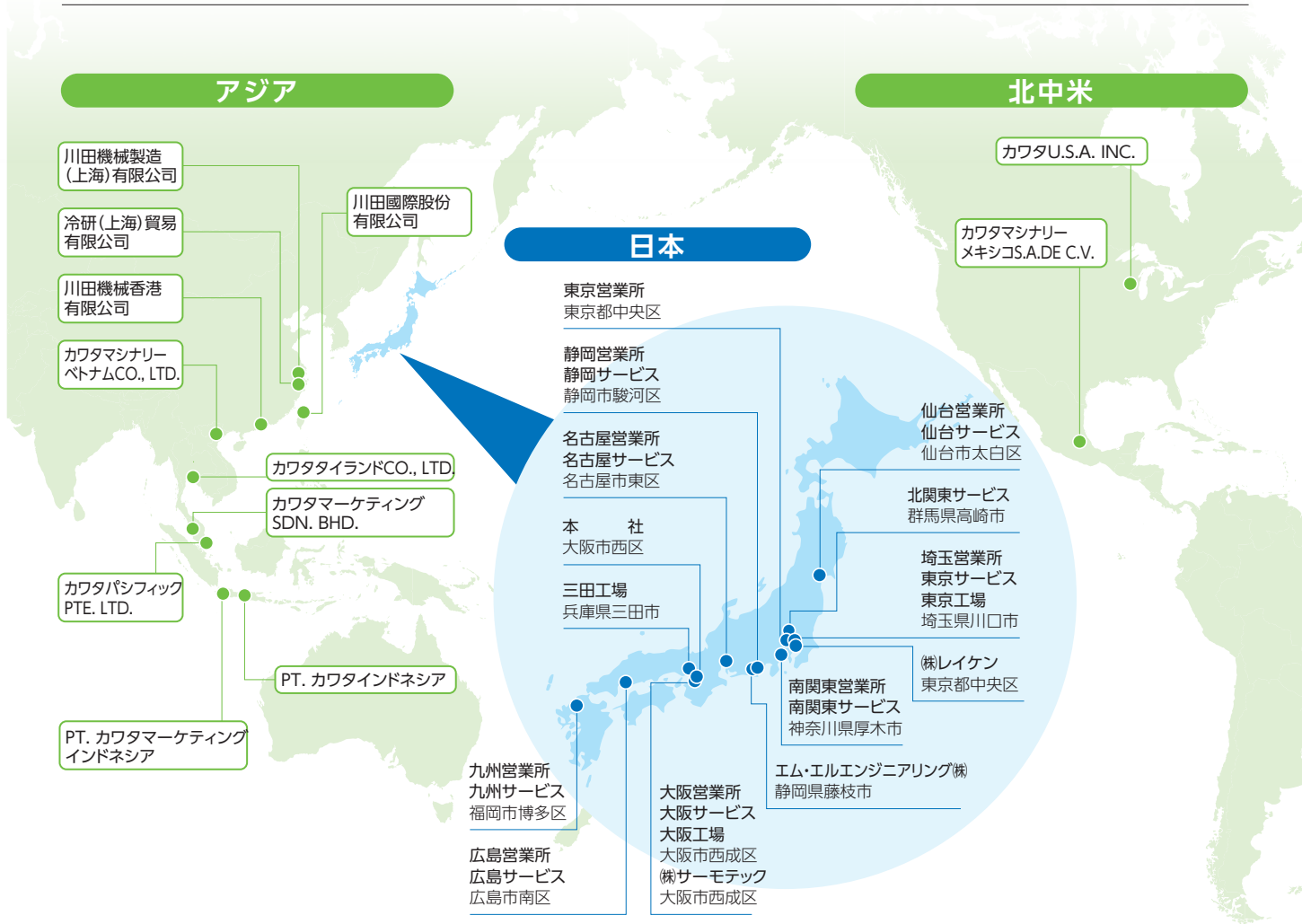
資 本 金 977,142,640円

従 業 員 数 255名 (連結818名)
(使用人兼務取締役、出向社員、パートタイマー及び
嘱託再雇用社員は除く)

■ 役員 (2021年6月25日現在)

代 表 取 締 役 社 長	白 石 互
取 締 役	白 井 英 徳
取 締 役	柴 孝 幸
取 締 役	藤 坂 祐 宏
取締役常勤監査等委員	渡 部 寛
取締役監査等委員	伊 藤 芳 伸
取締役監査等委員	飯 塚 一 雄

■ カワタグローバルネットワーク



WEBサイトのご案内

詳しいIR情報は、当社ホームページにて掲載しています。

<https://www.kawata.cc/>

株式会社カワタ

検索



トップページ

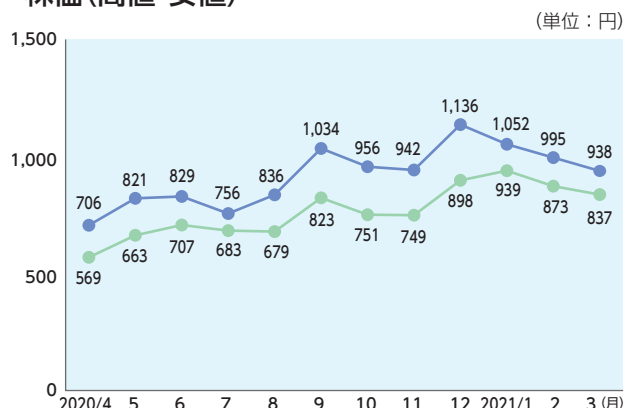


IRページ

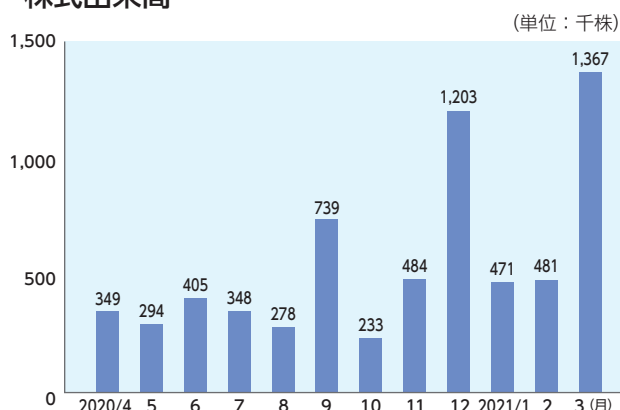
株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,210,000株
単元株式数	100株
株主数	8,919名
	(前期末比2,637名増)

株価(高値・安値)



株式出来高

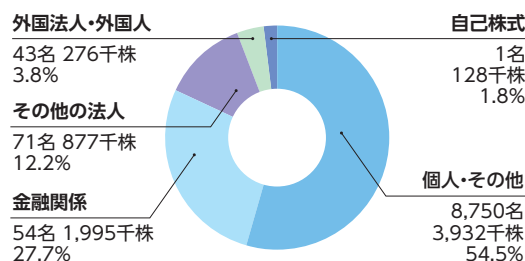


大株主(上位10名)

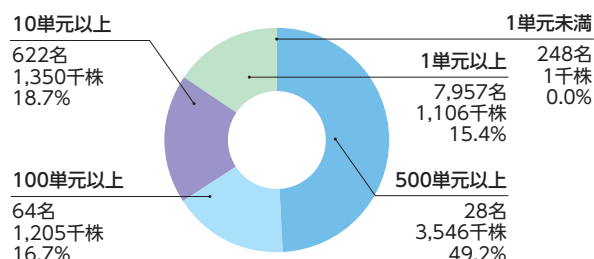
株主名	持株数
カワタ共伸会	588,600株
(株)三菱UFJ銀行	351,000
カワタ従業員持株会	299,580
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	261,800
日本生命保険相互会社	110,700
高塚 雅博	110,000
明治安田生命保険相互会社	110,000
大阪中小企業投資育成(株)	110,000
日本システムコントロール(株)	109,200
日本マスタートラスト信託銀行(株) (役員報酬BIP信託口・76541口)	105,600

(注) 上記のほか、自己株式が128,249株あります。

所有者別分布表



所有株式数別分布表



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末3月31日
中間9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
☎0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
当社ホームページ [\(https://www.kawata.cc/\)](https://www.kawata.cc/) に掲載

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。